

施工説明書

RW シリーズ

CW-RWA3 型, CW-RWA2 型

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意

- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。

なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。

お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますよう説明ください。

※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。

※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

施工手順

- 1 分岐金具の取付け
- 2 本体着脱プレートの取付け
- 3 シャワートイレ本体の取付け
- 4 当たり止めの貼付け
- 5 電源の接続
- 6 リモコンの位置決め・取付け
- 7 試運転

LIXIL シャワートイレページの Q&A から設置後によくある質問にお答えします。

※通信料はお客さまのご負担となります。
※お使いの環境・端末によっては、閲覧できない場合があります。



お客さまへ
本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買い求めの取扱店にご相談ください。なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173
受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00(ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

快適機能の設定はしないでください！

■快適機能の設定はお客さまにお任せください。
シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定する必要があります。したがって、できる限り、お客さまで設定するようお願いいたします。もし、施工業者様で設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。
特に節電機能は、お客さまが意識していないと、便座が冷たく感じる場合があります。

快適機能とは
シャワートイレを快適に使用していただくためのお客さまのための機能です。代表的な快適機能には、
●便座・温水の温度 ●脱臭機能 ●節電機能
●便座ヒーターオート OFF
などがあります。
※ 試運転確認後、必ずお買い上げ時の設定に戻してください。(洗浄位置【前】と【節電入/切】を同じタイミングで2秒以上押す)
※ 機種によっては、一部機能がない場合があります。

-1-

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。配線工事は電気工事店にご依頼ください。

●コンセントは AC100V、定格消費電力 (1300W) に適したアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。

すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。

- 定格消費電力に適した配線を行ってください。
- 必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。
アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1000mm です。
※ 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障するおそれがあります。

便器の確認

1. 便器の大きさ、隅付タンク式便器の取付条件はカタログなどにてご確認ください。
2. 給水ホース (同梱) の使用可能な条件
同梱の給水ホースは 950mm ですが、分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は 800mm 以内が適切です。※ 800mm 以上の距離がある場合は、別売の給水ホース CWA-27D (1350mm) または CWA-28D (2000mm) を手配してください。
3. タンク給水ホース (別売品) の使用可能な条件
止水栓とロータンクの間の距離によって使用できない場合があります。
● 止水栓とロータンクの間の距離が 150mm ~ 300mm の場合: タンク給水ホースが使用できます。
8 ページ [補足 2] をご覧ください。
● 止水栓とロータンクの間の距離が 150mm ~ 300mm 以外の場合: タンク給水ホースが使用できません。
※ 既存のサプライ管を切断するか、長い場合は市販の蛇腹管をご使用ください。
7 ページ [補足 1] をご覧ください。

使用する水は？

- 給水は必ず水道水および飲用可能な井戸水に接続してください。
中水道や工業用水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- 給水圧力は 0.05MPa {0.5kgf/cm²} ~ 0.75MPa {7.5kgf/cm²} が必要です。
0.05MPa 以下の場合、お求めの取扱店にご相談ください。
- 給水は便器の止水栓から取ってください。
フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合や給水を別に取り出す場合、便器の止水栓が中水道に接続している場合などは、お求めの取扱店にご相談ください。

-3-



メーカー管理用です。

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

- 警告** ... 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
- 注意** ... 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

警告

- 指示実行** 施工説明書に従い、正しく施工する。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 禁止** 電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
※ 電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。
- 禁止** 分解や改造は絶対に行わない。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。
- ぬれ手禁止** ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
※ 感電のおそれがあります。
- 指示実行** 電源プラグの抜き差しはプラグ本体を持って行う。
※ コード部を持って抜き差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災のおそれがあります。
- 水かけ禁止** 本体や電源プラグに水や洗剤をかけない。
※ 感電・火災の原因になります。
- 禁止** AC100V 以外では使用しない。
● タコ足配線はしない。
※ 感電・火災の原因になります。
- 指示実行** 電源プラグは根元まで十分差し込む。
※ 感電・火災のおそれがあります。
- 禁止** ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
※ 感電・火災の原因になります。
- アース接続** アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。
- 水場使用禁止** バスルームなどの湿気が多い場所には設置しない。
※ 感電・火災の原因になります。
- 禁止** 水道水および飲用可能な井戸水以外に接続しない。
※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。
- 指示実行** 電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず資格を有する者が行う。
※ 火災・漏電のおそれがあります。
※ 不適切な工事を行うと、法令により処罰等されることがあります。

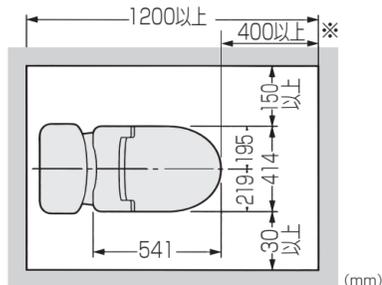
注意

- 指示実行** 製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。
※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行** ● ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
● ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり閉める。
● ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。
- 指示実行** 厳寒時に取り付ける場合は、取り付けの前にはしばらく暖かい室内に放置する。
※ 本体内の残水が凍結し、故障の原因になります。
- 指示実行** 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行** お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。
※ 凍結破損により漏水し、室内浸水の原因になります。
※ 凍結破損により火災の原因になります。
- 指示実行** 新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。
※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

-2-

必要なスペースは？

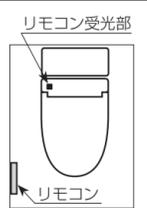
必要なトイレスペースは下図のとおりです。トイレ室内に十分なスペースがあることと、障害物がないことを確認してください。製品に向かって右側を脱臭フィルターの着脱が出来るように 150mm 以上の空間を確保してください。左側は 30mm 未満ですとスライド着脱ができなくなりますので、300mm 以上の空間を確保してください。空間が確保できないと、動作の妨げになる場合があります。



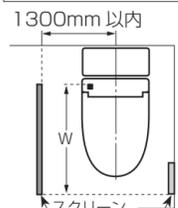
リモコンの取付位置は？

リモコンはできる限り、左側の壁に取り付けてください。

左側の壁にリモコンを取り付ける場合



右側の壁にリモコンを取り付ける場合

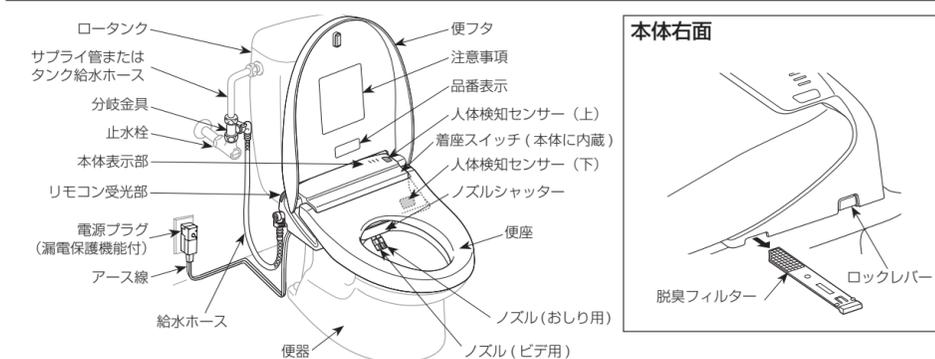


必要上、反対側の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。また、左側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から 1300mm 以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。スクリーンの寸法は高さ 1100mm 以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで (W) を確保してください。(ただし、壁の仕上げ・色 (特に黒っぽい色) などにより受信条件が悪くなる場合がありますので、ご注意ください。)

準備工具

- モンキーレンチ (26mm 以上調節可のもの) またはスパナ類 (23 ~ 26mm)
- プラスドライバー
- マイナスドライバー
- パイプカッター (サプライ管を切断する場合)

各部のなまえ



同梱部品の確認

□内の数字は施工手順の番号を示しています。

1 分岐金具 ● パッキン (黒:厚さ2mm)	2 本体着脱プレート ● 半球パッキン ● スリップワッシャー ● 六角ナット	4 当たり止め
3 シャワートイレ本体 ※ 脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。	クリップ 給水ホース (全長 950mm)	取付セット※4 ● パッキン青×2 (青:厚さ2mm) ● スリップワッシャー×1 ※1 ● パッキン黒×1 (黒:厚さ4mm) ※1 ● ストレーナー (網) ×1 ※2 ● マイナスドライバー部 ● スパナ部 ● 専用工具 ※3
説明書セット	6 ホルダー ※ホルダーは本体裏面に付いた状態ですが、スライドさせると外せます。	木ねじ プラスチックアンカー 電池 (単三形 2本)

- ※ 1: 既存のサプライ管を切断した場合に使用します。
- ※ 2: TOTO 便器、または INAX ストレーナー付便器に使用します。詳しくは同梱の説明書をご覧ください。
- ※ 3: 専用工具は、シャワートイレの取付けだけに使用してください。シャワートイレ以外に使用すると、対象物を破損させるおそれがあります。
- ※ 4: 機種によっては入っていない部材があります。

別売品

取替用分岐金具 (PK-CWA-89)

- ※ 止水栓とロータンクのナット (給水部) の距離が 15cm 以下または、30cm 以上の場合におすすめます。
- ※ ドライバー式、ハンドル式の止水栓に対応します。(内ネジ式の止水栓には取り付けできません。)
- ※ 止水栓の右側に 10cm 以上のスペースが必要です。

タンク給水ホース (全長 350mm) (CWA-24D)



止水栓付分岐栓 (CF-006)

- ※ 止水栓付を使用する場合は別途こちらを手配してください。
- ※ シャワートイレ側の給水を止水できます。

パッキン (青:外径 18mm、内径 12mm、厚さ 2mm)50-15(1P)

- ※ パッキン (青) とタンク給水ホースはセットではありません。それぞれを別途手配してください。

パッキンセット (200-640)



専用工具 (361-1002)



便座着脱工具 (RC-6420)

- ※ 別売品はソケット付です。

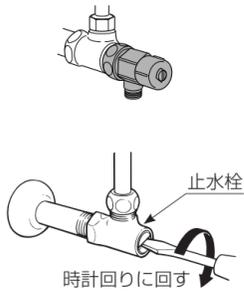


-4-

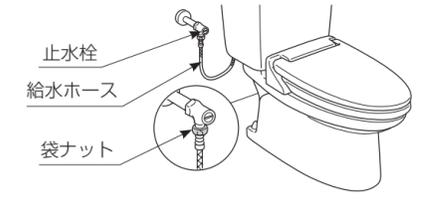
1 分岐金具の取付け 【注意 1-1 参照】

※ 右図のような他社製分岐金具がすでに取り付けられている場合は、別売の PK-CWA-89 (取替用分岐金具) を手配してください。

- 1. 止水栓を閉める。**
便器の止水栓をマイナスドライバーなどでいっばいに閉め、給水を止めます。
※ 止水栓は調節されていますので、元の位置 (どのくらい回したか) を覚えておいてください。
- 2. 給水を確認する。**
止水栓と便器 (ロータンク) の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付方法が異なります。
※ サプライ管を取り付ける場合は **【補足 1】** をご覧ください。

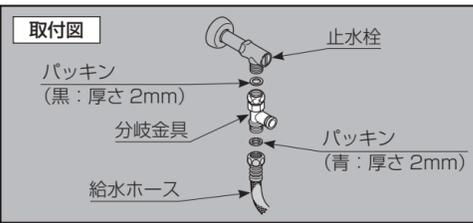


■ 止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合 (袋ナット固定)



- 3. 給水ホースを取り外す。**
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。
袋ナットを緩める

- 4. 分岐金具を止水栓に取り付ける。**
(締付トルク 10 ~ 15N・m)
パッキン (黒: 厚さ 2mm) を入れる

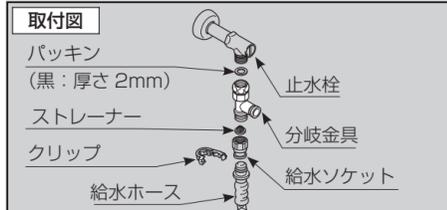
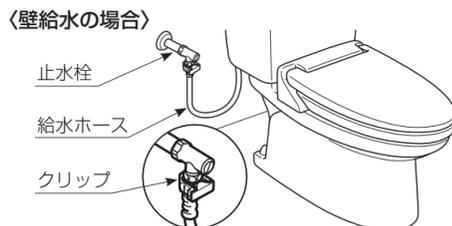


- 5. 給水ホースを取り付ける。**
(締付トルク 10 ~ 15N・m)
※ 給水ホースがねじれないように注意してください。
分岐金具を固定しておく
パッキン (青: 厚さ 2mm) を入れる
キズが付かないよう注意

【注意 1-1】

● 止水栓にすでに分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具または別売の CF-006 (止水栓付) を使用する。
※ 漏水の原因になります。

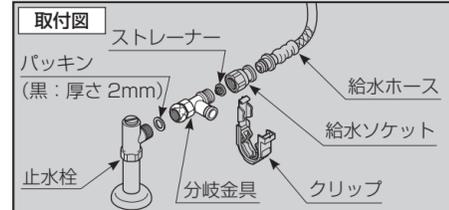
■ 止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合 (クリップ固定)



- 3. 給水ホースと給水ソケットを取り外す。**
【参考 1-1 参照】
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

- ① クリップを外す**
開く
- ② 給水ソケットとストレーナーを外す**
緩める

- ① クリップを外す**
開く
 - ② 給水ソケットとストレーナーを外す**
緩める
- 【参考 1-1】
- クリップを外す際は、下方向に押すようにして外す。
 - クリップとクリップカバーが別体の場合、クリップカバーを外してからクリップを外す。



- 4. 分岐金具を止水栓に取り付ける。**
(締付トルク 10 ~ 15N・m)

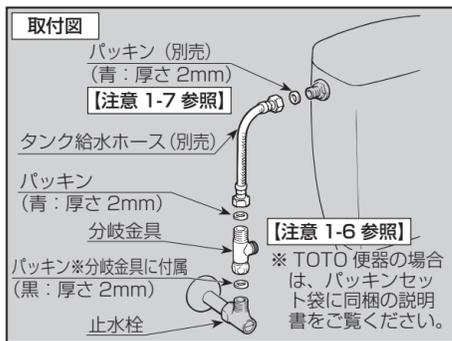
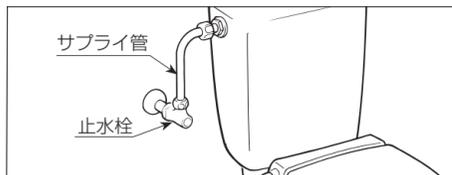
- 5. 給水ホースと給水ソケットを取り付ける。**
【注意 1-2 参照】 【注意 1-3 参照】
(締付トルク 10 ~ 15N・m)
パッキン (黒: 厚さ 2mm) を入れる
キズが付かないよう注意

- ① ストレーナーを入れて給水ソケットを取り付ける**
カチッ
- ② クリップで固定する**

- ① ストレーナーを入れて給水ソケットを取り付ける**
カチッ
- ② クリップで固定する**

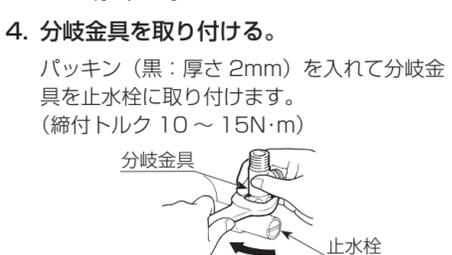
※ 取付け後にクリップを回し、確実にハマっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

■ 止水栓とロータンクが サプライ管で接続されている場合



- 3. サプライ管を外す。**
【注意 1-4 参照】
タンク側と止水栓側の袋ナットを緩めてサプライ管を外します。
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

- 4. 分岐金具を取り付ける。**
パッキン (黒: 厚さ 2mm) を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
(締付トルク 10 ~ 15N・m)

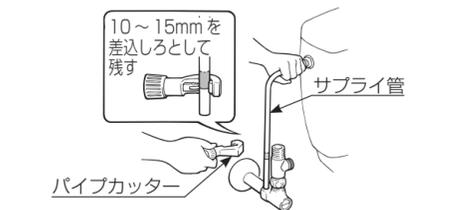


サプライ管を切断して取り付ける場合は、**【補足 1】** をご覧ください。

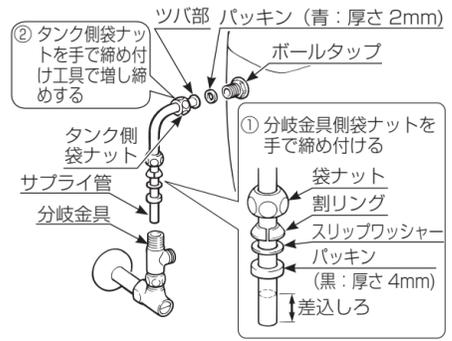
新たにタンク給水ホースを取り付ける場合は、**【補足 2】** をご覧ください。

補足 1 サプライ管の取付け 【注意 1-4 参照】

- 1. サプライ管 (分岐金具側) を切断する。**
【注意 1-5 参照】
※ サプライ管の切断にはパイプカッターを使用してください。



- 2. サプライ管を取り付ける。**
【注意 1-6 参照】 【注意 1-7 参照】 【注意 1-8 参照】
(締付トルク 10 ~ 15N・m)



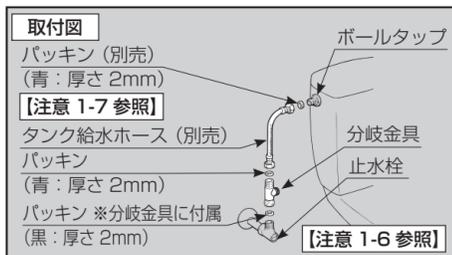
- ③ 分岐金具を固定しながら締め付ける**
キズが付かないよう注意

【注意 1-2】

● Oリングにキズを付けないように注意する。
※ Oリングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。

補足 2 タンク給水ホースの取付け

※ 【タンク給水ホースの使用可能な条件】を確認してください。(P.3「便器の確認」3.)



- 1. タンク給水ホースを取り付ける。**
【注意 1-7 参照】 【注意 1-8 参照】 【注意 1-9 参照】
※ 給水ホースがねじれないように注意してください。
(締付トルク 10 ~ 15N・m)

- ① タンク側袋ナットを手で締め付け工具で増し締めする**
タンク給水ホース
- ② 分岐金具を固定しながら締め付ける**
キズが付かないよう注意

- ① クリップに引っ掛ける**
- ② 押し上げ気味に差し込む**

- 正しい付け方**
- 悪い付け方**

- 【注意 1-3】**
● クリップは確実にハマ込む。
- クリップとクリップカバーが別体の場合、クリップカバーは下記のようにハマ込む。

- 【注意 1-4】**
● 止水栓やサプライ管に無理な力を掛けない。
※ 破損して漏水するおそれがあります。
- 【注意 1-5】**
● サプライ管のツバ部は絶対に切断しない。
● サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続する。
● 止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定する。
● 固定できない場合はタンク給水ホース (品番: CWA-24D) を使用する。
※ 漏水の原因になります。

- 【注意 1-6】**
● 各部件の向きと順序を間違えないようにする。
※ 間違えると漏水します。
● 既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース (品番: CWA-24D) を使用する。
※ 漏水の原因になります。
● サプライ管の接続は確実に行う。
※ 漏水の原因になります。

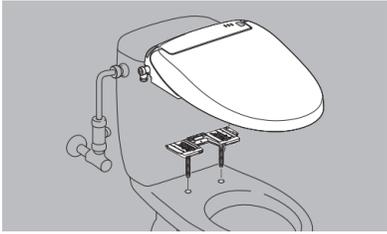
- 【注意 1-7】**
● 当社製ストレーナー付便器の場合は、別途手配のストレーナー付パッキン (品番: 26-10-2) に交換する。
このとき同梱のパッキン (青: 厚さ 2mm) は取り付けない。

- 【注意 1-8】**
● ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締め付ける。
※ ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。

- 【注意 1-9】**
● タンク給水ホースは鋭角に曲げない。
※ 破損して漏水の原因になります。
● パッキンは必ず付属品を使う。
※ 漏水の原因になります。

2 本体着脱プレートの取付け

必ず同梱の着脱プレートを取り付けてください。
既存の便座を取り外す場合は、【補足3】をご覧ください。

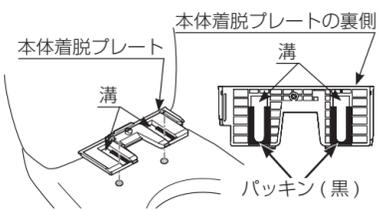


1. 便器の取付穴位置を確認する。
本説明書端の「便器先端位置」と便器の先端を合わせ、便器取付穴の位置が「A位置」または「B位置」が確認します。
※メジャーは便器の中心に置いて測ってください。

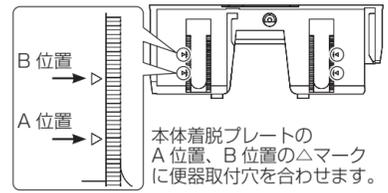


2. 本体着脱プレートを仮固定する。
【注意 2-1 参照】【注意 2-2 参照】

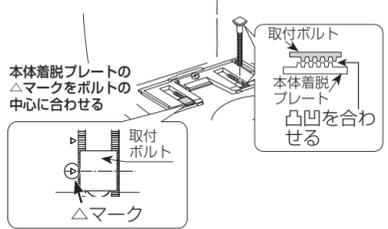
① 本体着脱プレートのパッキン（黒）が付いている側を便器側に向けて、本体着脱プレートの左右の溝から便器取付穴の左右の穴が見えるように置きます。



② 「1. 便器の取付穴位置を確認する」で確認した便器取付穴位置が「A位置」の場合は本体着脱プレートのA位置、「B位置」の場合は本体着脱プレートのB位置に便器取付穴を合わせます。

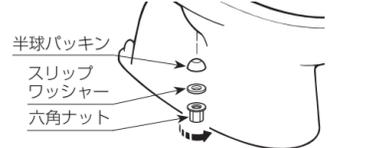


③ 本体取付ボルト2本を穴に差し込んで本体着脱プレートの凹凸を合わせます。



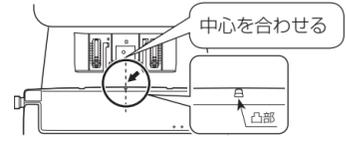
④ 本体取付ボルトに半球パッキンとスリップワッシャーを通して六角ナットを手で取り付け、着脱プレートがガタつかないように仮固定します。

※ 本体取付ボルトの中心位置がズレないように手で押さえるなど、固定しながら締め付けてください。
※ ナット類や本体取付ボルトは樹脂製です。締め付け過ぎて破損しないように注意してください。
※ 半球パッキンは、球面部が陶器側ですので組付方向に注意してください。



3. シャワートイレ本体を取り付け、設置の状態を確認する。

【注意 2-3 参照】
① 本体を本体着脱プレートの手前に置きます。
② 本体着脱プレートの中心と本体の中心（凸部）を合わせます。

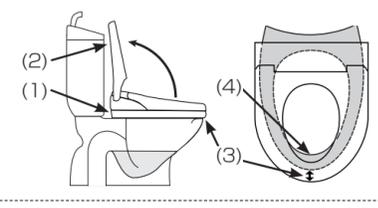


③ 本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで、奥にゆっくりスライドさせます。
※ 「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。
※ 本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはなりません。
※ 本体がロータンクに当たり取り付けられない場合は、本体着脱プレートの位置を調整してください。

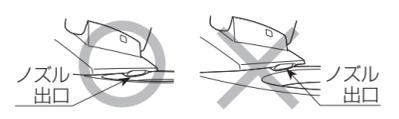


④ 以下の条件にあてはまる場合は、シャワートイレ本体を外して本体着脱プレートの位置を調整してください。
また、本体着脱プレートを調整する際は、A位置、B位置を目安に、下の条件が解消されるように調整してください。

- (1) シャワートイレ本体の背面がタンクに当たっている
- (2) 便フタを開けると、便フタがタンクに当たり閉じてくる
- (3) シャワートイレ本体の先端が、便器の先端より出すぎている（便器先端から便座が出る位置の理想の目安は5～20mm）
- (4) 便器のフチが上から見えすぎている



(5) ノズルの出口が、便器のフチに乗り上げていたり、干渉したりしている。



※ 本体の外し方は P.11 「シャワートイレ本体の外し方」を参照してください。

4. シャワートイレ本体を外してから、取付ボルトをしっかりと締めて、本体着脱プレートを固定する。

【注意 2-1 参照】【注意 2-2 参照】
手で六角ナットを回して、本体着脱プレートがガタつかないように確実に固定します。
手で締めた後、便座着脱工具で2回程程度回してください。
(参考：締付トルク 2.0～2.5N・m)

【注意 2-1】

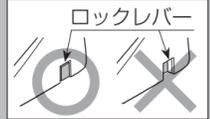
● ボルトの締め付けは偏りのないよう、左右交互に少しずつ行う。
※ 締め付けが緩いと便座がずれたり外れたりする原因になります。

【注意 2-2】

● ナット類や取付ボルトは樹脂製なので、必ず手で締め付ける。
● 半球パッキンは、球面部が陶器側になるよう、組付方向に注意する。

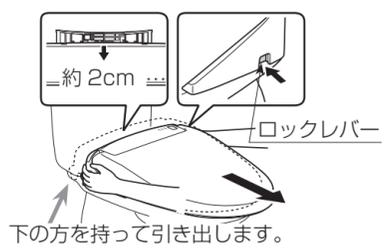
【注意 2-3】

● 本体右側にあるロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。
● ロックレバーが奥に入った状態では、本体と本体着脱プレートが固定されておらず、本体が便器から外れる可能性があります。
● 本体を奥に突き当たるまで押し込み、しっかりと固定させてください。



シャワートイレ本体の外し方

- ① 本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、約2cm スライドさせます。
- ② ロックレバーから指を離して、さらにスライドさせます。

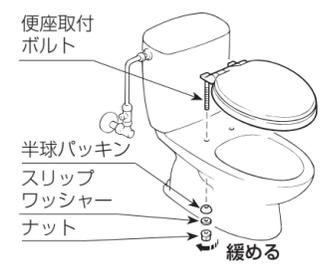


補足3 既存の便座の取外し

※ 便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。
※ 取り外した便座は、引越越しのなどを考え、保存しておくことをお勧めします。

■ ボルト式の場合

1. 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外す。
2. 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外す。



■ さや式の場合

1. 既存の便座を持ち上げて外す。
2. さやの中のボルトを緩めて、ボルトを下に押し込む。
3. さや2本を便器から抜き取る。

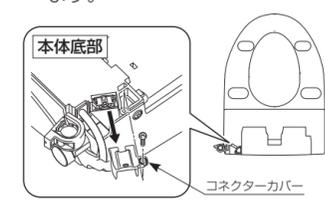


3 シャワートイレ本体の取付け

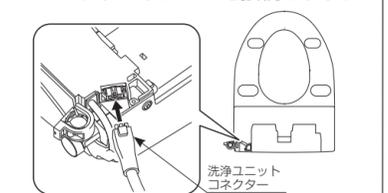
【注意 3-1 参照】【注意 3-2 参照】

■ フルオート便器洗浄 (HQ) タイプの場合

図のようにシャワートイレ本体底部のコネクターに洗浄ユニットコネクターを接続します。
① ねじを外しコネクターカバーを外します。



② カバー内のコネクターに洗浄ユニットコネクターを接続します。



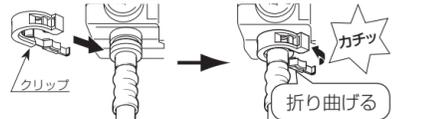
③ コネクターカバーをねじで取り付けます。



1. 給水ホースを本体側に取り付ける。

- ① 保護キャップを外します。
 - ② 給水ホースを差し込みます。
- 【注意 3-3 参照】
※ 給水ソケットが回転しますが、これは構造上によるもので故障ではありません。

③ クリップで固定します。
【注意 1-2 参照】【注意 1-3 参照】
【注意 3-4 参照】【参考 1-1 参照】
※ クリップに方向性ははありません。
※ 取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



【注意 3-1】

● 取付けの際は、必ず付属の部品を使用する。

【注意 3-2】

● 電源プラグに衝撃をかけたたり、便器内に水没させないように注意する。

2. シャワートイレ本体を取り付ける。

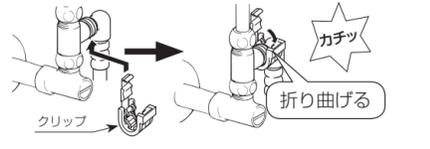
②-3. ①～③ (P.10 「シャワートイレ本体を取り付け、設置の状態を確認する」)の手順でシャワートイレ本体を取り付けてください。

3. 給水ホースを分岐金具側に取り付ける。

- ① 保護キャップを外します。
 - ② 給水ホースを差し込みます。
- 【注意 3-3 参照】
③ クリップで固定します。



【注意 1-2 参照】【注意 1-3 参照】
【注意 3-4 参照】【参考 1-1 参照】
※ クリップに方向性ははありません。
※ 取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



【注意 3-3】

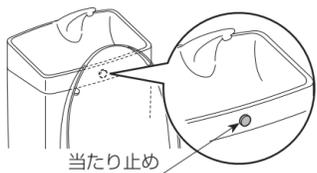
● 給水ホースが折れ曲がってしまう場合は、分岐金具の向きを調節する。
※ 破損して漏水するおそれがあります。

【注意 3-4】

● クリップの先端が「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む。
※ 漏水の原因になります。

4 当たり止めの貼付け

- 便フタを開き、便フタがロータンクに当たるところに当たり止めを貼る。
※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。

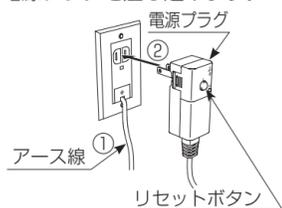


5 電源の接続

- 電源プラグをコンセントに差し込む。

【注意 5-1 参照】

- アース線を接続します。
- 電源プラグを差し込みます。



- 電源が入っていることを確認する。
本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認してください。



警告



確実にアース線をアースターミナルに接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意 5-1】

- 電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認する。
※ 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。
- リセットボタンを押しても電源ランプ（緑）が点灯しない（電源プラグの表示ランプが点灯する）場合は、200V が通電していないかを確認する。

6 リモコンの位置決め・取付け

壁リモコンと同梱されている施工説明書に従って、リモコンを取り付けます。

7 試運転（施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）

● 水漏れ箇所はありませんか？

- 止水栓を元の位置まで開く。

	チェック欄	確認内容	
漏水確認		漏水していませんか？ ※ 便器洗浄を数回行ってください。 (給排水接続部は数回繰り返し水を流さないと、確認が困難な場合があります。)	
	<input type="checkbox"/>	① 止水栓部および給水ホースとの接続部	
	<input type="checkbox"/>	② 本体と給水ホースとの接続部	

● おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

【注意 7-1 参照】 【注意 7-2 参照】 【注意 7-3 参照】

- 電源が入っていることを確認する。
- 便座を押し下げ、着座スイッチを入れる。



確認機能	チェック欄	確認内容	
おしりノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ①【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと温水が止まりますか？	
ビデノズル	<input type="checkbox"/>	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ①【ビデ】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	
	<input type="checkbox"/>	2. 【止】を押すと温水が止まりますか？	

※ シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

- 約 15 分たった後、便座が温まるかを確認する。

確認機能	チェック欄	確認内容	
暖房便座	<input type="checkbox"/>	1. 便座に手で触れ、暖かくなっていますか？	便座

【注意 7-1】

- インバータ照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあるので、照明を消して動作を確認する。

【注意 7-2】

- 着座スイッチがあるため、おしり洗浄、ビデ洗浄は着座しないと作動しない。

【注意 7-3】

- タンクへの給水が止まらなくなった場合、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認する。
浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直す。



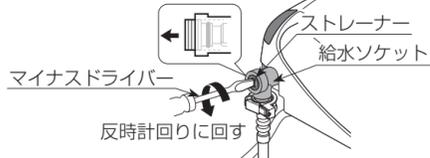
1. タンクのナットを緩めて、ボールタップを垂直に立てます。
2. ボールタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

- 「止水栓」を閉めて、給水を止める。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
- 【ノズルそうじ】を押す。
- 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら、中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す。
【注意 8-1 参照】
※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



- ※ ストレーナーを外す際、給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

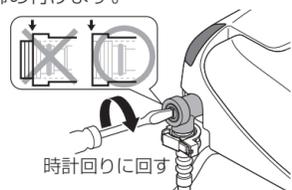
【注意】
ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

- 「ストレーナー」や「Oリング」に付いているゴミを水洗いして完全に除去する。

【注意 8-1】

- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり締める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミがOリングに付着していないことを確認する。
※ Oリングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因となります。

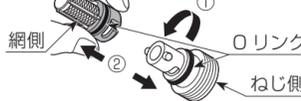
- 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に締め付ける。
※ ストレーナーの取付部分に段差がなくなるまで締め付けます。



【取付時の注意】
ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりとまっていることを確認してください。

- 「止水栓」を元の位置まで開く。
- ストレーナー部から水漏れしていないか確認する。

- ストレーナーの汚れがひどい場合は、ストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
※ Oリングにキズを付けないように注意してください。Oリングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。



お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

- 「止水栓」を閉めて、給水を止める。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
- 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作し、ロータンク内の水を抜く。
- シャワートイレ本体から水を抜く。
① 「ストレーナー」の下に布などを置く。
② 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部やOリング部に付いているゴミを水洗いして完全に除去する。

【注意】
ストレーナーを外す際に、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

- ③ 【ノズルそうじ】と【マッサージ】を同じタイミングで2秒以上押す。
※ 約15秒間本体内の残水を抜きます。
- ④ 電源プラグをコンセントから抜く。
- ⑤ 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける。
【注意 8-1 参照】
4. 止水栓部から水漏れしていないか確認する。